

## アフターサービス

(1) 保証書(別に添付してあります)  
保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

保証期間—お買い上げ日から1年間です。

(2) 修理を依頼されるとき  
15ページの「故障・異常の見分け方と処置方法」に従ってお調べになったうえで、直らない場合は、明記の処置を行った上でお求めの販売店までご連絡ください。

●保証期間中は

保証書の規定に従ってお買い上げの販売店が出張修理をさせていただきます。お買い上げの販売店にご依頼にならない場合はお近くの「ご相談窓口」(別紙一覧表参照)にご連絡ください。

連絡していただきたい内容

- ご住所・ご氏名・電話番号
- 製品名・品番・お買い上げ日
- 故障又は異常の内容  
(できるだけ詳しく)
- 訪問ご希望日

●保証期間が過ぎているときは  
お買い上げの販売店へご依頼ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理致します。販売店にご依頼にならない場合には、お近くの「ご相談窓口」(別紙一覧表参照)にご連絡ください。

(3) 補修用性能部品の最低保有期間  
ガス給湯ふろユニットの補修用性能部品の最低保有期間は製造打切後7年です。この期間は通商産業省の指導によるものです。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

(4) ガスの種類の異なる地域へ転居されるとき  
ガスの種類は、LPガス、都市ガス(都市ガスには13種類があります)があります。ガスの種類が異なる地区へ転居される場合には、改造・調整が必要です。この改造・調整に伴う費用は保証期間内でありましても有料です。

(5) アフターサービス等についてわからないとき  
お買い上げの販売店またはお近くの「ご相談窓口」(別紙一覧表参照)にお問い合わせください。

**便利メモ** おぼえのために記入されると便利です。

ご購入年月日	年	月	日	品番
ご購入店名	電話 ( ) -			
最寄りのご相談窓口	電話 ( ) -			

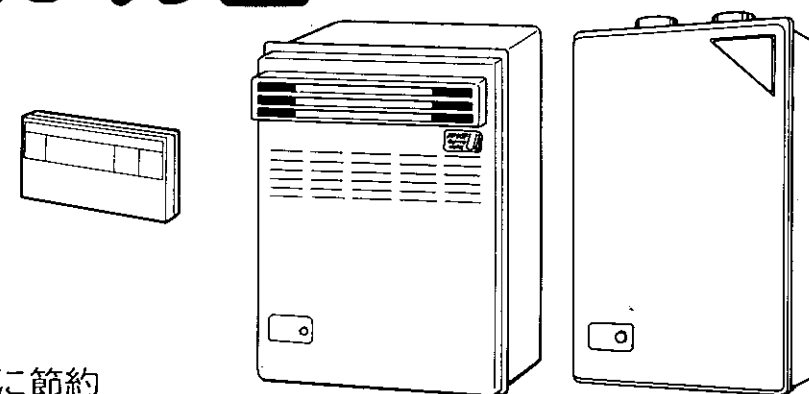
松下電器産業株式会社  
松下住設機器株式会社 給湯システム事業部  
〒639-11 奈良県大和郡山市筒井町800番地  
電話 大和郡山 (07435) -6-1121 (大代表)

Y0687-3

## ナショナル 遠隔追焚式ガス給湯ふろユニット

	〈屋外設置用〉	・	〈屋内設置用〉
品番	GU-16T1J GU-16T2J	・	GU-16F1J GU-16F2J

## 取扱説明書 (工事説明書別添)



正しく使って上手に節約

■この説明書と別添の「工事説明書」・「保証書」をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。そのあと大切に保管し、わからないときは再読してください。

**保証書別添**

■保証書は必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入を確かめて、販売店からお受取りください。

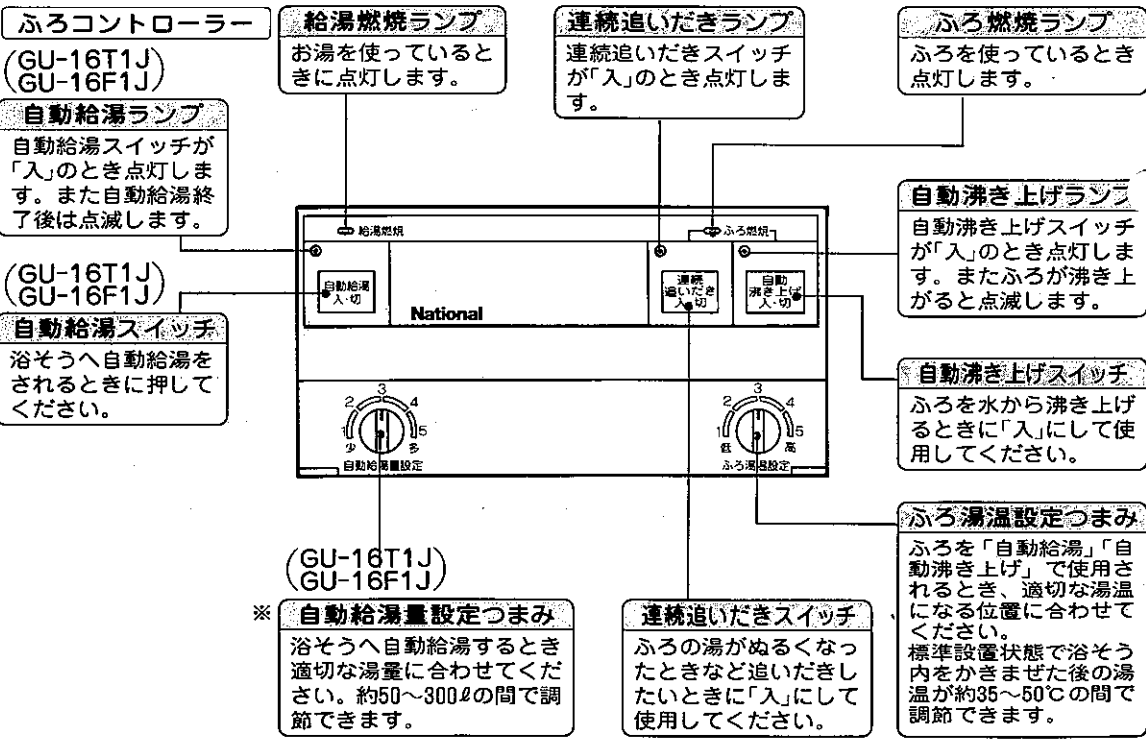
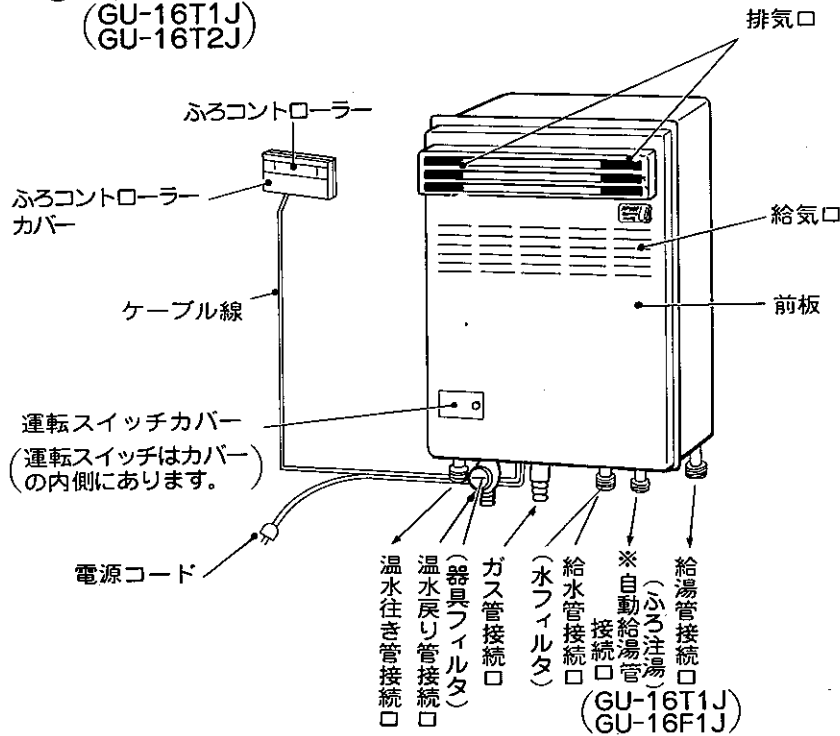
も く じ ページ

各部の名称	1
特に注意していただきたいこと	2
器具の設置及び付帯工事	4
器具の使用法	5
器具の上手な使い方	11
冬期の凍結による破損防止について	11
日常の点検・手入れ	13
故障・異常の見分け方と処置方法	15
仕様	17
長期間使用しない場合	18
アフターサービス	裏表紙

# 各部の名称

## ■ 外観

● 屋外設置型  
(GU-16T1J)  
(GU-16T2J)



※印はGU-16T2J・GU-16F2Jにはありません。

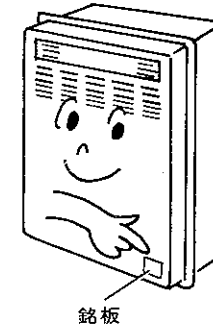
# 特に注意していただきたいこと

## ■ 使用ガスおよび使用電源についてのご注意

● 器具(銘板)に表示してあるガス(ガスグループ)以外のガスでは使用しないでください。表示のガス種類とお宅のガスが一致していることをお確かめください。

● 器具(銘板)に表示してある電源(電圧・周波数)以外の電源では使用しないでください。

[注] この部分を必ずご確認ください。



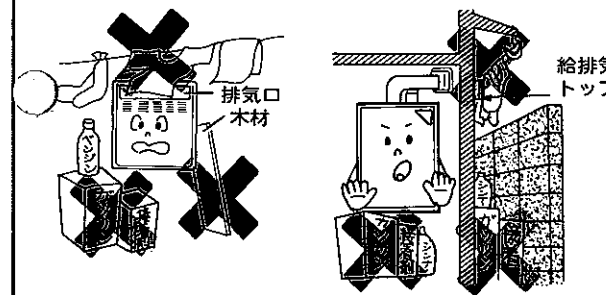
● お引越しのときは、必ず引越し先のガスの種類を確かめてからお使いください。  
※ 種類が一致しないときは、お求めの販売店、または最寄りの「ナショナル消費者ご相談センター」に連絡してください。

(例: GU-16T1J)

【LPガス用銘板】		【都市ガス用銘板】	
ガスふろがま	ガスバーナー付ふろがま	ガスバーナー付ふろがま	
かまき名	型式名	型式名	型式名
GF-GU-16T1J	GU-16T1JIG	GU-16T1JIG	GU-16T1JIG
バーナー名	都市ガス用	都市ガス用	都市ガス用
GP-GU-16T2J(PI)用	ガス区分	13A	12A
ガス消費量	最大	3.45kg/h	3.90kg/h
ふろ	1.0kg/h	ガス消費量	42000
		39000	使用電源
			AC100V, 60Hz, 155W
設置方式	屋外用	設置方式	屋外用
使用電源	AC100V, 60Hz, 155W		
松下住設機器株式会社 松下電器産業株式会社 凍結予防ヒーター作動時96W		松下住設機器株式会社 松下電器産業株式会社 凍結予防ヒーター作動時96W	
種類 瞬間湯沸器		種類 瞬間湯沸器	
検査証印 *JWWA		検査証印 *JWWA	
型式登録番号 A-2421 最低作動水圧(kg/cm <sup>2</sup> ) 0.2		型式登録番号 A-2421 最低作動水圧(kg/cm <sup>2</sup> ) 0.2	
L P ガス			
都市ガス	4A	4B	4C
(ガスグループ)	5A	5AN	5B
	6A	6B	6C
		7C	
		12A	13A

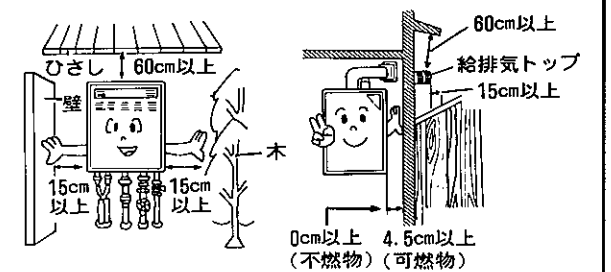
## ■ 火災予防

● 器具の上や周囲には燃えやすいものを置かないでください。特に、排気口や給排気トップの近くに洗たく物などを置かないでください。



● 棚の下など落下物の危険のあるところには設置しないでください。  
● 換気(給気・排気)が十分できるところに設置し、器具を囲わないでください。  
● ふろコントローラーは、幼児の手の届く低い位置には設置しないでください。  
● 火をつけたまま就寝や外出は絶対にしないでください。

● 壁、その他の可燃物から十分離れている場所に設置してください。



屋外設置型は屋外専用の器具です。屋内には絶対取り付けしないでください。  
屋内設置型は屋内専用の器具です。屋外には絶対取り付けしないでください。

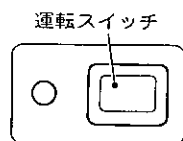
## ■ ガス事故防止

● 使用時の点火、使用後の消火のほか、使用中も正常に燃焼していることをふろコントローラーの給湯燃焼ランプ、ふろ燃焼ランプで確かめてください。  
● 使用後はふろコントローラーのスイッチを「切」にし、お出かけのときや、お寝みの際には、器具前面左下側の運転スイッチを「切」にし、ガス元せんも必ず閉めてください。

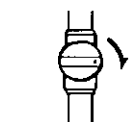
# 特に注意していただきたいこと

●ガス漏れに気づいたときは、すぐに使用をやめ、器具前面左下側の運転スイッチを「切」にし、ガス元せんを開けて、お求めの販売店かガス供給業者に連絡してください。

1. 運転スイッチを切る。
2. ガス元せんを閉める。

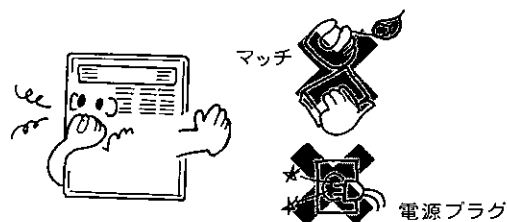


器具前面の左下側



器具の下部

●万一ガスが漏れたときは、すべての処置が終わるまでの間、絶対に火をつけたり、電気器具(換気扇その他)のスイッチの「入・切」や電源プラグの抜き差しなどをしないでください。



## ■使用上のご注意

### (1) 用途についてのご注意

台所・シャワー・洗面などの給湯およびふろの沸き上げ、追いだき以外の用途には使用しないでください。

### (2) 市販の補助用具使用についてのご注意

●この器具用の付属品・補助用具以外は使用しないでください。

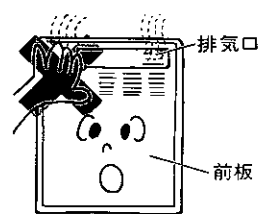
(不完全燃焼などの原因になります)

●市販の湯ざめ防止器、または簡易シャワーユニットなどを取り付けて使用しないでください。

(器具の異常過熱などの原因になります)

### (3) 火傷にご注意

使用中および消火直後は、前板や、排気口が高温になっていますので、絶対に手を触れないでください。



### (4) 雷時の注意

激しい雷が接近したときは、使用を中止し電源プラグを抜いてください。

### (5) 健浴剤や洗剤についてのご注意

硫黄・酸・アルカリを含んだ健浴剤や洗剤は熱交換器等が腐食する原因になりますので、健浴剤等のご注意文をじゅうぶんに参照ください。

### (6) 飲用にお使いのときは

器具内に長時間たまった水は飲用または調理に用いないでください。

### (7) 過熱防止

浴そうの循環口はタオルなどでふさがないようにください。

### (8) アース(接地)のご確認

ご使用前に、次のいずれかの方法で正しくアースされていることを必ずお確かめください。

●分電盤内のアース端子にアース線が接続されているか。

●アース棒を使用しているか。

●コンセントのアース端子にアース線が接続されているか。

## ■凍結に注意

●冬期は、寒冷地だけでなく、暖かい地方でも急な寒波のため器具内の水が凍って、器具を破損することがあります。

●冬期で凍結のおそれがある場合には、凍結予防ヒーターと凍結予防ポンプ運転装置が内蔵されていますので、電源プラグは抜かないでください。

### ご注意

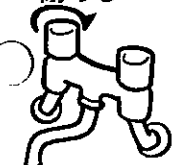
ふろ側の器具および配管パイプ凍結防止のために、ポンプ運転により自動的に水の循環を行ないますので、浴そうの水は必ず張った状態にしてください。

※詳しくは11~13ページの「冬期の凍結による破損防止について」をお読みください。

## ■異常時の処置

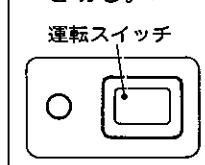
万一、異常燃焼(バーナー着火時や使用中に“ゴー”と音のするような燃焼)臭気、異常音などが感じられたときや、緊急(地震、火災など)の場合は、あわてずに下図の処置をし、お求めの販売店かガス供給業者に連絡してください。

### 1. 給湯せんを閉める



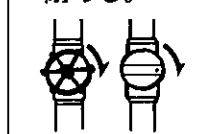
お湯の使用場所

### 2. 運転スイッチを切る。



器具前面の左下側

### 3. 給水元せん・ガス元せんを閉める。



器具の下部

## ■日常の点検・手入れ

●日常の点検・手入れは、必ず行なってください。(詳しくは14ページをお読みください。)

●故障または破損したと思われる場合は、お求めの販売店か最寄りの「ナショナル消費者ご相談センター」に相談してください。不完全な修理は危険です。

# 器具の設置及び付帯工事

●器具の設置・移動及び付帯工事は、お買い求めの販売店にご依頼し、安全な位置に正しく設置してご使用ください。

●ご使用前に工事説明書通り正しく設置されていることを確認してください。

●アースの接続を確かめてください。

(詳しくは工事説明書32ページをお読みください。)

# 器具の使用法

## ■ご使用前の準備と確認

1. 給水元せんを全開にしてください。



器具の下部

2. 給湯せんを開け、水の出ることを確認してから閉めてください。



お湯の使用場所

3. ガス元せんを全開にしてください。



器具の下部

4. 電源プラグをコンセントに差し込み、器具前面左下側の運転スイッチを「入」にしてください。(運転ランプが点灯します。) 運転ランプ



器具前面の左下側

## 給湯の使いかた

### ■点火

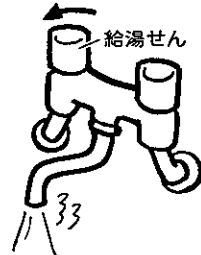
#### ①給湯せんを開けます。

●バーナーに点火し、お湯が出ます。

〔点火と同時に、給湯燃焼ランプ(赤)が点灯します。〕

●湯量の調節は、水道を使用される要領で給湯せんを調節してお使いください。

〔注〕この器具は高温出湯タイプ(約60℃)になっていますので必ず混合せんで湯温を調節してご使用ください。



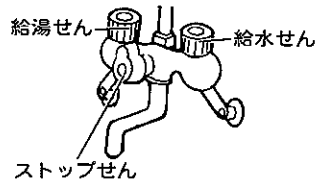
#### ②混合せんで湯温を調節します。

給水せんを徐々に開き、適切な出湯温度になるように調節してください。

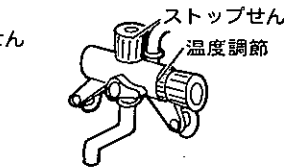


●混合せんにはいろいろな種類がありますが次のようなタイプが使いやすいのでおすすめします。(ストップせんを開くだけでセットされた温度の湯が出てきます)

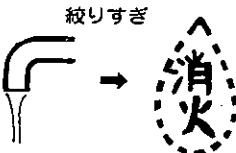
ワンストップ混合せん



サーモミキシング混合せん

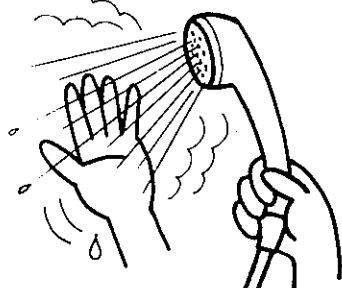


●給湯せんを絞りすぎると(約3ℓ/分以下)バーナーの火が消えるようになっていきます。



●湯量を絞ったとき水の中の空気が分離して気ほうとなり、湯が白くなることがありますが、空気ですので何ら心配はありません。

●シャワーをご使用のときは、いきなり体や頭にはかけずに、手で湯温を確認してからお使いください。



〔シャワー使用直後の再使用や、湯量を急に絞ったときには一瞬熱い湯が出る場合がありますのでご注意ください。〕

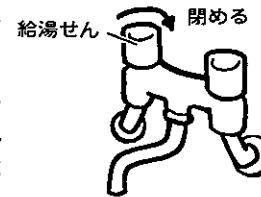
●2ヵ所で同時使用されると、ぬるくなったり、湯量が少なくなることがあります。特にシャワー使用中の同時使用はおやめください。

## ■消火

### ③給湯せんを閉めます。

●バーナーが消火し、給湯燃焼ランプ(赤)が消灯します。

●ワンストップ混合せんやサーモミキシング混合せんタイプのものはストップせんを閉めると消火します。



## ふろの使いかた

### ■水張り

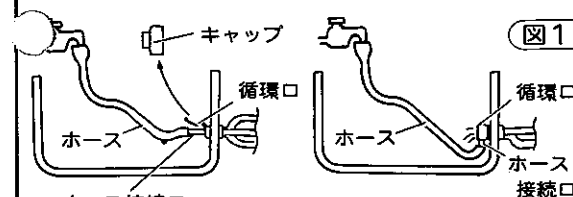
つぎの場合は必ず水張りをしてください。

- 試運転時
- 試運転のあと初めて器具を使用される時
- 器具およびふろ配管の水抜きをされた時
- 長時間浴そうの水抜きをされた時

### 水張りのしかた

●循環口のホース接続口にホースを差し込み、循環口前面より水が連続して出るまで水張りを行ってください。図1

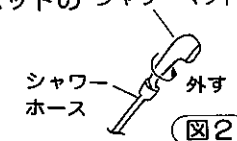
(GU-16T1J GU-16F1Jの場合) (GU-16T2J GU-16F2Jの場合)



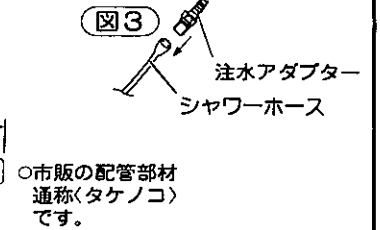
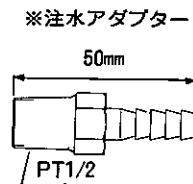
- ホース接続口 (キャップをはずしてください。)
- 水が連続して出るまで水張りをする。

●じゃ口の形状によりホースが接続できないときは次の方法でシャワーヘッドを利用してください。

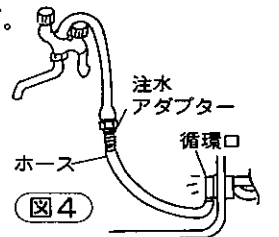
①シャワー付混合せんのシャワーホースと、シャワーヘッドのシャワーヘッド接続部を外す。図2



②シャワーホース側に注水アダプター(仮称)を取り付ける。図3



③注水アダプターと循環口ホース接続口をホースで継ぐ。図4



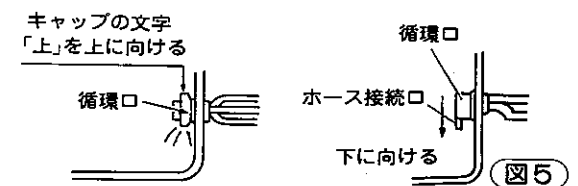
④シャワー付混合せんの「水」バルブを「開」にし、注水する。

※注水は循環口前面より水が連続して出るまで行なってください。

⑤注水アダプターを外し、シャワーヘッドを元通りにする。

●また、水張り後は、図5のようにGU-16T1J GU-16F1Jの場合は、必ずキャップの文字「上」を上向きに、またGU-16T2J GU-16F2Jの場合はホース接続口を下向きにしておいてください。

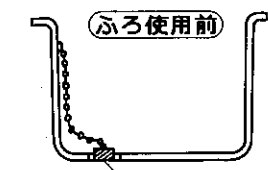
(GU-16T1J GU-16F1Jの場合) (GU-16T2J GU-16F2Jの場合)



## ■ふろ使用前の準備と確認

### ①浴そうの排水せんをきちんと入れます。

●ふろ使用前には、必ず浴そうの排水せんがきちんと入っていることを確認してください。



浴そうの排水せんをきちんと入れる。

# 器具の使用法

## ② 浴そうに水(または湯)が入っていること

を確認してください。

- 連続追いだきまたは、自動沸き上げされるときは必ず浴そうの循環口より10cm以上水(または湯)が入っていることを確認してください。

[注] GU-16T1Jで自動給湯される時は、浴そう内の水(または湯)の量を見込んでふろコントローラーの自動給湯量を設定してください。

## ③ 循環口のキャップを確認してください。

- 浴そうの循環口に、キャップがついていることやキャップの「上」文字が上に向いていることを確認してください。
- キャップが無い場合や、「上」文字位置が大きくズレていますと、ぬるめの湯温で沸きあがりますので、ご注意ください。  
(詳しくは6ページの「水張りのしかた」をお読みください。)

## ④ 浴そうのフタをします。

## 自動給湯操作のしかた (GU-16T1J GU-16F1Jのみ)

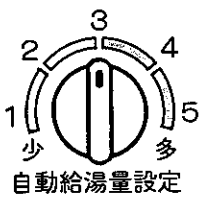
ふろ(浴そう)へ自動的に給湯するときに使います。

### ■ 点火

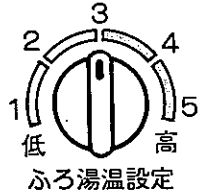
- ふろコントローラーカバーをあけてください。

#### ① 自動給湯量とふろ湯温の設定をします。

- 自動給湯量設定つまみを適切な湯量に合わせてください。約50~300ℓの範囲で調節ができます。



- ふろ湯温設定つまみを適切な位置に合わせてください。沸き上げてかきませた後の平均湯温で約35~50℃の範囲で調節できます。



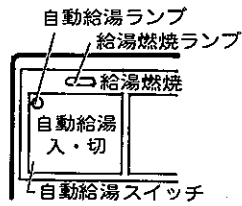
### ご注意

- 使用中の停電後の再使用时や浴そうに残水がある場合は、その水量分を見込んで少なめの設定をしてください。  
(設定が多過ぎると浴そうからあふれることがあります。)

## ② 自動給湯スイッチを「入」にします。

バーナーに点火し浴そうの中へ湯が出てきます。

(自動給湯ランプ(緑)と給湯燃焼ランプ(赤)が点灯します。)



[注] 給湯燃焼ランプ(赤)が点滅する場合には、自動給湯スイッチを「切」にした後、再度「入」にする操作を繰り返してください。

- 設定した湯量が給湯されると、自動的に燃焼が止まり、給湯燃焼ランプ(赤)が消灯します。
- 次にふろのバーナーに点火し、沸き上げをはじめます。(ふろ燃焼ランプ(赤)が点灯します)

[注] 最初の約30秒間はふろ湯温設定に関係なく沸き上げます。それ以降は浴そうのふろ湯温がふろ湯温設定より高ければ沸き上げは止まり低ければ、ふろ湯温設定になるまで沸き上げます。

- 沸き上げが終了すると、自動的に燃焼が止まり、ふろ燃焼ランプ(赤)が消灯し、ブザーが鳴ります。(約8秒)。

同時に自動給湯ランプ(緑)が点滅をはじめます。

### ご注意

- 自動給湯中に他の給湯せんを開けますとそこでの使用量だけ浴そうの湯量が少なくなります。
- 自動給湯中に自動給湯スイッチを「切」にし、再度「入」にすると「入」の時点からもとの設定量の湯が給湯されますのであふれることがあります。
- 冬期など水温が低いとき、自動給湯運転中に沸き上げが始まり、同時運転することがあります。

### 使用後は

#### ③ 自動給湯スイッチを「切」にしてください。

自動給湯ランプ(緑)の点滅が消灯します。

[注] 使いはじめや、長期間使用しなかった後など、「自動給湯」のはじめに、浴そうへ湯アカが出てくる場合があります。

## 連続追いだき操作のしかた

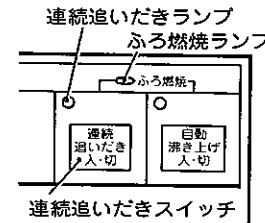
浴そうの湯がぬるくなったときの追いだきに使用します。

### ■ 点火

#### ① 連続追いだきスイッチを「入」にします。

バーナーに点火し追いだきをはじめます。

(連続追いだきランプ(緑)とふろ燃焼ランプ(赤)が点灯します。)



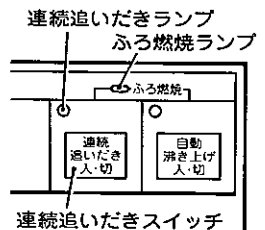
### [注]

- ふろコントローラーの連続追いだきスイッチ「切」後、すぐに連続追いだきスイッチを「入」にしても燃焼しないことがあります。しばらく待ってから「入」にしてください。

### ■ 消火

#### ② 連続追いだきスイッチを「切」にします。

バーナーが消火し、ふろ燃焼ランプ(赤)、連続追いだきランプ(緑)が消灯します。



### [注]

- 連続追いだきの場合は、約50℃になるまで消火しませんので湯温を適時確認して連続追いだきスイッチを「切」にしてください。

## 自動沸き上げ操作のしかた

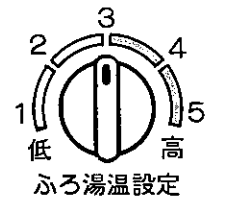
浴そうに水(または湯)があるときの沸き上げに使用します。

### ■ 点火

- ふろコントローラーのカバーをあけてください。

#### ① ふろ湯温の設定をします

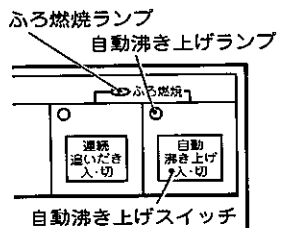
- ふろ湯温設定つまみを適切な位置に合わせてください。沸き上げてかきませた後の平均湯温で約35~50℃の範囲で調節できます。



#### ② 自動沸き上げスイッチを「入」にします。

バーナーに点火し、沸き上げをはじめます。

(自動沸き上げランプ(緑)とふろ燃焼ランプ(赤)が点灯します)



- 沸き上げが終了すると、自動的に燃焼が止まり、ふろ燃焼ランプ(赤)が消灯し、ブザーが鳴ります(約8秒)。同時に自動沸き上げランプ(緑)が点滅をはじめます。

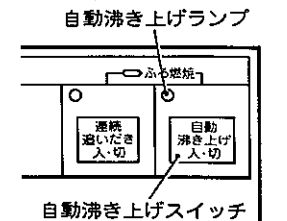
### [注]

- 途中で消火したいときは、自動沸き上げスイッチを「切」にしてください。

### 使用後は

#### ③ 自動沸き上げスイッチを「切」にしてください。

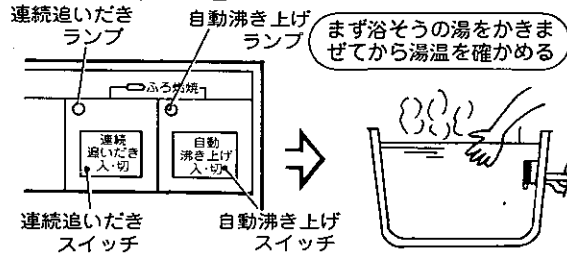
自動沸き上げランプ(緑)の点滅が消灯します。



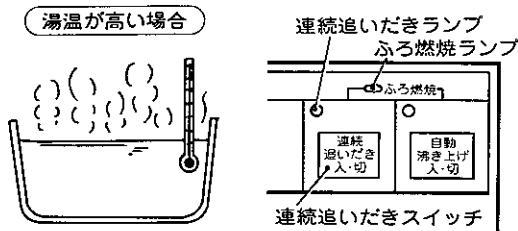
# 器具の使用法

## ふろ使用時のご注意

- 入浴されるときには、自動沸き上げスイッチ、連続追いだきスイッチを「切」にして、必ず浴そうの湯温を確かめてください。



- 前日の湯を再利用される場合、または給湯器から落とし込みなどで浴そう内の湯温が高い場合は、自動沸き上げスイッチを「入」にしてもふろ燃焼ランプが点灯しないことがあります。この場合は、連続追いだきスイッチを「入」にしてご使用ください。



- 給湯とふろを同時でご使用になるときは、給湯側が優先になっていますので、沸き上げに時間がかかるときがあります。
- つぎの場合は器具やふろ配管内に空気が溜っているおそれがありますので6ページの「水張りのしかた」に従って水張りをし、空気を出してください。

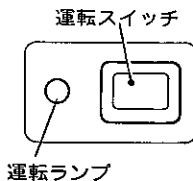
- ①自動給湯の後、沸き上げをせず、ふろ燃焼ランプ(赤)が点灯しない時。
- ②連続追いだき操作や自動沸き上げ操作を行っても沸き上げず、ふろ燃焼ランプ(赤)が点灯しない時。

## 長時間使用しない場合

器具の前面左下側の運転スイッチを「切」にし、ガス元せんを閉めてください。

(運転ランプが消えます)  
(ふろコントローラーのスイッチを切っただけでは、約9ワットの電力を消費しています。)

1. 運転スイッチを切る。



器具前面の左下側

2. ガス元せんを閉める



器具の下部

### 〔注〕

- 自動給湯スイッチ、自動沸き上げスイッチ、連続追いだきスイッチを「入」にした後や、給湯せんを開けた後、燃焼ランプ(赤)が点灯しない場合(燃焼ランプが点滅する場合は、各々操作したスイッチを一度「切」にし、(給湯せんは閉)、再操作してください。

- 「自動給湯」使用中は「自動沸き上げ」、「連続追いだき」の操作をされてもスイッチが入らないようになっています。

- 給湯側の給湯せんでお湯を使っているときの「自動沸き上げ」、「連続追いだき」の使用はできません。

## テレコントロールでの自動給湯のしかた (GU-16T1J、GU-16F1Jのみ)

松下通信工業㈱のVJ-500-A・VJ-800Aが必要です。

- ガス元せん、給水元せんを開け、器具前面左下側の運転スイッチを「入」にしてください。
- テレコントロールにより器具をつける制御をすると、「わかりました」「しばらくお待ちください」「給湯器ついています」「機器番号をどうぞ」というようにメッセージされます。器具運転中に異常がある場合には、テレコントロールからのメッセージは次のようになります。

メッセージ	異常内容
給湯器消えています	器具の不具合による着火不良 ガス元せんの開け忘れ 給水元せんの開け忘れ
給湯器制御できません	運転スイッチの入れ忘れ

- 操作方法や詳しいことは、テレコントロールシステム取扱説明書をごらんください。

## ■運転モニターの表示と処置方法

運転モニター		表示内容と処置方法
ランプの表示	ブザー音	
自動給湯ランプ(緑)点滅 (GU-16T1J、GU-16F1Jのみ)	8秒間鳴る	自動給湯完了です。
自動沸き上げランプ(緑)点滅	8秒間鳴る	自動沸き上げ完了です。
連続追いだきランプ(緑)点滅	8秒間鳴る	ふろの沸かし過ぎです。 (沸かし過ぎて高温になっています。) 水を入れてください。
給湯燃焼ランプ(赤)点滅 または ふろ燃焼ランプ(赤)点滅	鳴らない	ガス元せんが十分開いてないか、ガスがなくなったときに表示します。ガス元せんを十分開き2~3回点火操作を繰り返してください。 それでも正常にもどらない場合は、器具前面左下側の運転スイッチを「切」にし、ガス元せん、給水元せんを閉め、お求めの販売店に連絡し指示に従ってください。

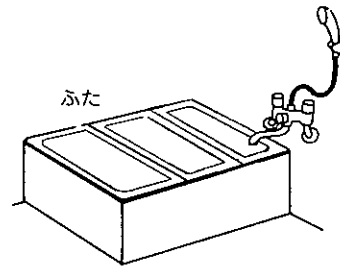
## ■停電後の使用方法

- 停電時は給湯せんを閉めてください。
- 再通電したときは、5・7・8ページの「■点火」に従って操作してください。

# 器具の上手な使い方

## 風呂への給湯・沸き上げは……

- 浴そうの排水せんとふたをきちんとして、放熱ロスを防いでください。
- ご家族全員が続けて入れる頃に浴そうに給湯もしくは沸き上がるようにしましょう。



## 冬期の凍結による破損防止について (暖かい地域でご使用のお客様も必ずお読みください。)

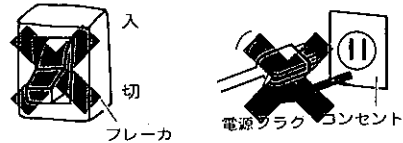


- 凍結の危険性は地域により異なりますので、経験により適時凍結防止の処置を行なってください。
- 凍結すると器具や給湯配管が破損して、水漏れをおこしたり、器具が異常をおこす危険性があります。
- 凍結による修理は有料です。

### 給湯

#### ①凍結予防ヒーターによる方法

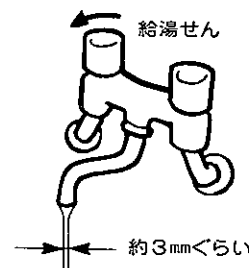
- この器具には、外気温が0℃近くになるとサーモスタットの働きで自動的に器具内を保温する凍結予防ヒーターを組み込んでいます。
- 凍結予防ヒーターは電源プラグがはずれていたり、分電盤のブレーカが「切」になっていると作動しません。絶対に電源プラグは抜かないでください。また、ブレーカーを「切」にしないでください。



- 凍結予防ヒーターは、器具前面左下側の運転スイッチの「入・切」に関係なく作動します。  
〔注〕外気温が極端に低く（無風時で-15℃以下）になりますと、この凍結予防ヒーターだけでは効果ありません。このような場合は、②または③の方法を行なってください。

#### ②給湯せんから水を流す方法

- ガス元せんを閉め、器具前面左下側の運転スイッチを「切」にして、お風呂場の給湯せんを開け、1分間に約200cc以上(牛乳びん1本くらい)の水を浴そうに流し込んでください。



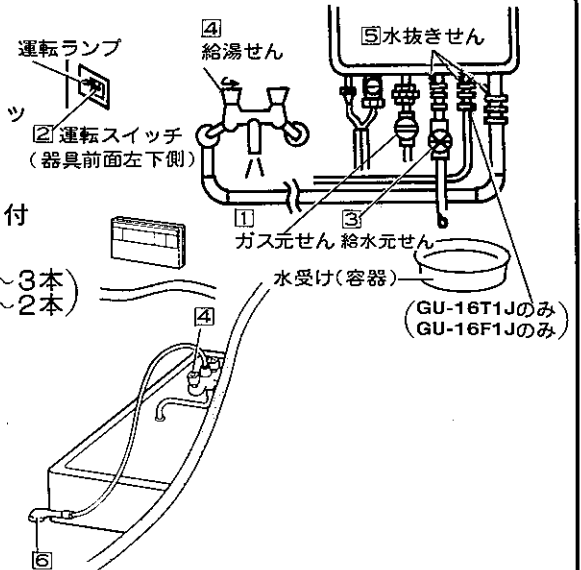
- 流量が不安定なことがありますので、念のため約30分後にもう一度流量をご確認ください。

# 冬期の凍結による破損防止について

## ③水抜きによる方法

次の順序で行なってください。

- (1) ガス元せん①を閉め、器具前面左下側の運転スイッチ②を「切」にする。
- (2) 給水元せん③をしっかりと閉める。
- (3) 給湯せん④またはシャワーせん(シャワーを取り付けている場合)を全部開ける。
- (4) 水抜きせん⑤を開ける。(GU-16T1J・GU-16F1J～3本) (GU-16T2J・GU-16F2J～2本)
- (5) シャワーヘッド⑥を床面まで下げる。



## ■水抜き後の使用方法

- (1) 水抜きせん⑤を元通り、しっかりと閉める。
- (2) ガス元せん①を閉めた状態、および器具前面左下側の運転スイッチ②を「切」にした状態で給水元せん③を開け、給湯せん④およびシャワーヘッド⑥から水が出るのを確かめ、給湯せん④またはシャワーせん(シャワーを取り付けている場合)を閉めてからお使いください。
- (3) 再使用するときは、5ページの「器具の使用方法」に従って操作してください。

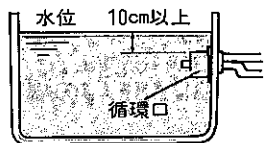
## ■ご注意

- もし凍結して水が出ないときは、使用をひかえ(器具前面左下側の運転スイッチを「切」にした状態で)、給湯せん④またはシャワーせん(シャワーを取り付けている場合)を開け、水が出るまで待つからお使いください。
- ①および③の方法では、給水・給湯配管や、バルブ類の凍結防止はできません。凍結防止のため配管には、必ず保温材(25mm以上)を巻いてください。
- 冷え込みの厳しい地域では、「水道凍結防止器」を配管およびバルブ類に巻いて、十分な保温を行なってください。

### ふろ

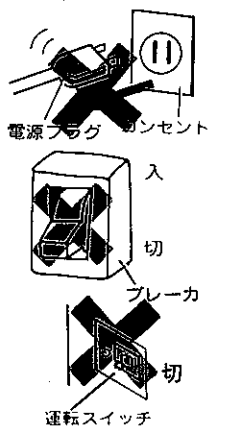
- 外気温が0℃近くになるとサーモスタットの働きで自動的にポンプを動作させ、浴そうの水を循環させて凍結を防ぎます。

〔注〕凍結防止としてポンプを動作させますので、寒冷時は浴そうに必ず水を張った状態にしてください。また水位が循環口より10cm以上入っていることを確認してください。



- ポンプは、電源プラグがはずれたり、分電盤のブレーカ、器具前面左下側の運転スイッチが「切」になっていると動作しません。絶対に電源プラグは抜かないでください。また、分電盤のブレーカや器具前面左下側の運転スイッチを「切」にしないでください。

- 冬期、あえて浴そうの水抜きが考えられる場合(浴そうに水を張らない場合)または配管に十分な保温工事をしてポンプの凍結防止運転を停止したい場合はお求めの販売店とご相談し、凍結予防ヒーター(別販品)を取り付けてください。



# 冬期の凍結による破損防止について

## ■凍結したとき

- 凍結した場合、ガス元せん・給水元せんを閉めてください。凍結したまま使われますと器具に異常が生じる場合があります。
- 凍結が解けたあと、水漏れがないのを確認のうえご使用ください。
- 器具や配管が破損しますと、高額な修理費用がかかる場合があります。(有料)

## 日常の点検・手入れ

点検・手入れの前には、必ず給水元せんとガス元せんを閉め、電源プラグを抜いて、器具が冷えてから行ってください。

### ■点検

- 器具のまわりに燃えやすいものはありますか。
- 器具の外観に異常は見られませんか。
- 運転中に、器具から異常音が聞こえませんか。
- 器具および配管より水漏れ・ガス漏れはありませんか。  
(ガス漏れは、配管接続部に石けん水などをつけて調べてください)
- 器具や浴そうのフィルタが詰まっていますか

(フィルタにはゴミや湯あか等が付着し、そのままにしておくとも詰まりを起こし器具の異常の原因になります。フィルタの掃除はつぎの要領で定期的に行ってください。)

#### (1)浴そうフィルタの掃除をしてください。

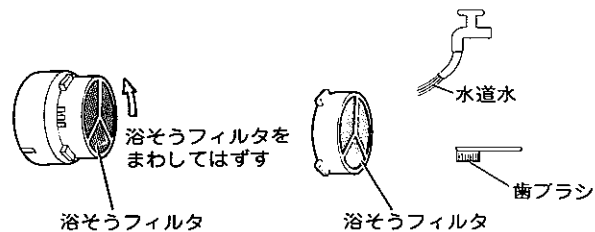
①図1のようにフィルタを取り外し、水道水で勢いよく洗い落すか使い古しの歯ブラシ等で落してください。

※金属性のブラシ等はフィルタを傷める恐れがありますので絶対に使用しないでください。

※フィルタに付着したゴミ等は浴そうの排水口に捨てないでください。

(配水管が詰まる恐れがあります。)

(GU-16T1J  
GU-16F1Jの場合)



(GU-16T2J  
GU-16F2Jの場合)

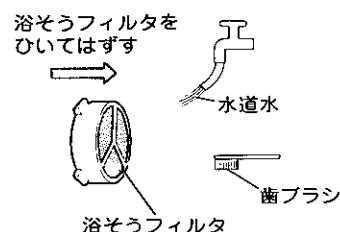


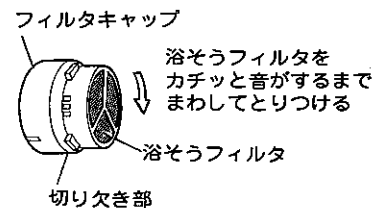
図1

②掃除をした浴そうフィルタをもとのように取り付けてください。

浴そうフィルタが確実に取り付けられていない場合には浴そう内のゴミが器具内に入りこんで、故障の原因になりますので図2のようにフィルタキャップをかちッと音がするまで確実に取り付けてください。

※フィルタキャップは切り欠き部が下になるように取りつけてください。

(GU-16T1J  
GU-16F1Jの場合)



(GU-16T2J  
GU-16F2Jの場合)

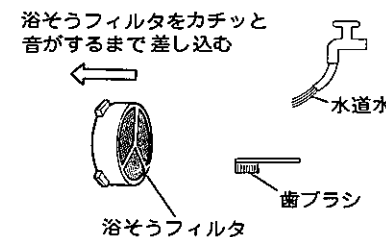
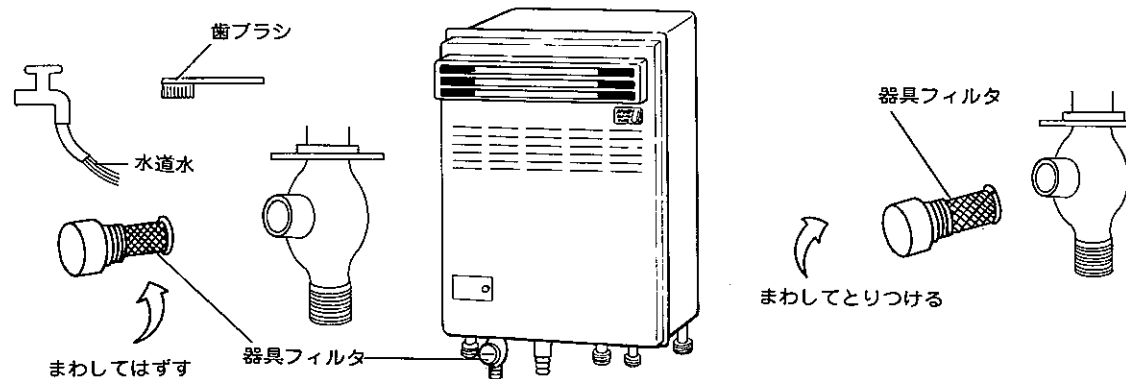


図2

(2)器具のフィルタを掃除してください。

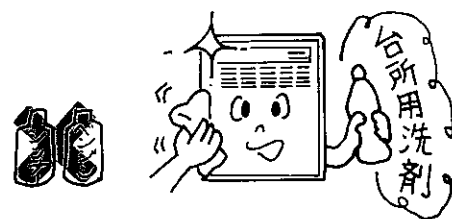
①下図のように器具フィルタを取り外し、水道水で勢いよく洗い落すか、使い古しの歯ブラシで落してください。  
※金属性の歯ブラシはフィルタを傷める恐れがありますので絶対に使用しないでください。

②掃除をした器具フィルタをもとのように確実にとりつけてください。



### ■お手入れ

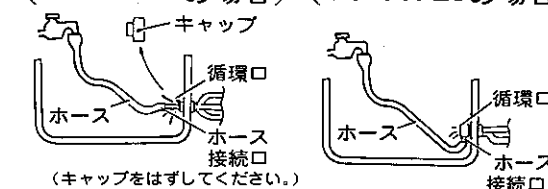
●器具の表面が汚れたときは、布またはスポンジに台所用洗剤(中性洗剤)をつけてふき取ってください。  
シンナー・ベンジンなどではふかないでください。



### ●ふろ用熱交換器のお手入れ

浴そうの循環口のフィルタキャップをはずし、水道のホースの先を6ページの要領に従って水を勢いよく出して洗ってください。

(GU-16T1J  
GU-16F1Jの場合) (GU-16T2J  
GU-16F2Jの場合)



(キャップをはずしてください。)  
(熱交換器内には使用中の湯あかが付着します。半年に1回程度お手入れを行ってください。)

### ■定期点検のおすすめ

ご使用上支障がない場合でも、不慮の事故を防ぎ、安心してより長くご使用いただくために、定期点検を年に1~2回、お求めの販売店にご相談ください。



# 故障・異常の見分け方と処置方法

ご使用中に、ふだんと違った状態になったときや不都合が生じたときは、そのままお使いにならず、直ちにご使用を中止され、十分な点検をしてください。

## ■故障・異常の見分け方と処置方法について (○=主原因、△=原因)

現象	運転ランプが点灯しない	給湯燃焼ランプが点灯しない	給湯せんに湯が出ていない	使用中に水になる	高温の湯が出ない	使用中に湯温が極端に変動する	お湯を止めても燃焼ランプが消えない	連続追いだきスイッチを「入」にしてもふろ燃焼ランプが点灯しない	自動沸き上げスイッチを「入」にしてもふろが沸かない、または沸きがおそい	ふろの沸き音がする	処置方法	参照ページ	お求めの販売店
ブレーカが「入」になっていない	○	○	○								ブレーカを「入」にする	—	○
電源プラグがはずれている (運転スイッチが「切」になっている)	○	○	○								プラグをコンセントに差し込む (運転スイッチを「入」にする)	5	○
ガス元せんの開き不十分		△	△	△	○	△		△	△		ガス元せんを全開にする	5・10	○
配管内に空気が残っている	○	△	△	△	△	△		○			点火操作を繰り返す	9	○
ガス圧が適切でない		△	△	△	△	△		△	△		他の器具も同様の場合は点検を依頼する (他に原因がないとき)	—	*
給水元せんの開き不十分			○	△	△	△					給水元せんを全開にする	5	○
水圧が適切でない			○	△	○	△					点検または点検を依頼する (他に原因がないとき)	—	*
水フィルタの詰まり			△	△	△	△					水フィルタを掃除する	—	*
浴そうフィルタの詰まり								○	○		浴そうフィルタを掃除する	14	○
断水している			○								給湯使用をいったん中止する	—	○
凍結している		○	○								解凍するまで使用を中止する	11~13	○
											電源プラグがはずれている場合はコンセントに差し込む	11~13	○
バーナー炎口の詰まり		△	△	△	△			△	△		点検を依頼する	—	*
空気吸込口の詰まり										△	点検を依頼する	—	*
熱交換器の目詰まり					△					△	点検を依頼する	—	*
混合せんの調節が適切でない					○	○					「器具の使用法」の給湯操作のし方を参照する	5	○
給湯せんの開き不足			△	△	△	△					給湯せんを全開にする	5	○
ノズル詰まり		△	△					△			点検を依頼するとき (他に原因がないとき)	—	*
安全装置が作動		○	○	○				○			点検を依頼する (度々作動する場合)	16	*
流量センサーの故障			△	△	△	△	○				点検・修理・部品交換を依頼する (他に原因がないとき)	—	*
電気部品の故障	○	○			△		○	○	○		点検を依頼する	—	*
ポンプが回転しない								△			点検を依頼する	—	*
停電	○			○				○	○		再通電するまで待つ	10	○
浴そう内の湯温が高い									○		ふろ運転を「連続追いだき」にする。「器具の使用法」の「連続追いだき操作のし方」を参照する	8	○
漏電安全装置の故障	○	○	○					○			点検を依頼する	16	*
スイアツスイッチの故障								○	○		点検を依頼する	—	*
器具フィルタの詰まり								○	○		フィルタを掃除する	14	○

[注] 寒い日など排気口や給排気トップから湯気が出ることがありますが、異常ではありません。

## ■安全装置の働き

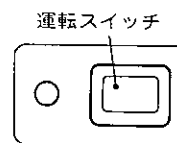
- **バーナー安全装置**  
バーナーの炎が消えたときは、安全装置が働いて自動的にガスが止まります。
- **電流ヒューズ**  
過電流が流れますと、自動的に運転を停止します。
- **空だき安全装置 (熱交換器過熱防止装置)**  
万一、バーナーの火が消えないなど、熱交換器の温水が異常に高くなった時、異常温度上昇を検知してガスを遮断し熱交換器の破損を防止します。
- **過熱防止装置 (温度ヒューズ)**  
器具本体温度が異常に高くなった時、熱交換器背面に設置してある温度ヒューズが働き、ガスを遮断し火災を防止します。
- **凍結予防ヒーター (給湯)**  
給湯回路の凍結を防止するために、低温になると働きます。  
詳しくは、11ページをお読みください。

- **過圧逃し弁 (給湯)**  
器具内の水圧が異常に上昇したときに作動し、器具内の圧力を下げて、器具の損傷を防止します。
- **漏電安全装置**  
器具内の電気回路に異常がおこり、漏電などの危険が生じると、電気を自動的に停止します。この安全装置は自動復帰しません。電源プラグを持って、コンセントから抜き、再度コンセントに差し込んで異常が直らないときは、電源プラグを抜き、お求めの販売店にご連絡ください。
- **ファン電流検知装置**  
排気のファンモーターに電流が供給されていない場合にはファン電流検知装置により、ガスを遮断します。

## ■安全装置が作動したときの処置方法

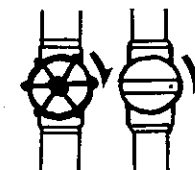
- 点火しなかったり、ご使用中にバーナーが消火したときは、下記の方法および15ページの「故障・異常の見分け方と処置方法」に従ってください。  
また上記の安全装置が働いた場合には、器具前面左下側の運転スイッチを「切」にし、ガス元せん・給水元せんを閉めてからお求めの販売店に連絡してください。

1. 運転スイッチを「切」にする。



器具前面の左下側

2. 給水元せん・ガス元せんを閉める。



器具の下部

3. お求めの販売店へ…



連絡

# 仕様

品名		遠隔追焚式ガス給湯ふろユニット			
品番		GU-16T1J	GU-16F1J	GU-16T2J	GU-16F2J
種類	給湯方式	先止め式			
	ふろ追いだし方式	強制直接循環式			
	給排気方式	強制排気式	強制給排気式	強制排気式	強制給排気式
点火方式	連続放電式(自動点火)				
水圧	使用水圧	0.8kg/cm以上			
	作動水圧	0.2kg/cm			
外形寸法	本体	高さ750mm×幅480mm×奥行267mm			
	ふろコントローラー	高さ94mm×幅193mm×奥行28mm			
重量	本体	37kg			
	ふろコントローラー	0.45kg			
接続	ガス	LPガス用・都市ガス用共：20A(PT $\frac{3}{4}$ )			
	給水	15A(PF $\frac{1}{2}$ )			
	給湯	15A(PF $\frac{1}{2}$ )			
	ふろ追いだし用温水	行き・戻り $\phi$ 12.7銅管(ロー付)			
	自動給湯(ふろ注湯)	15A(PF $\frac{1}{2}$ )、 $\phi$ 12.7銅管(ロー付)			
電気関係	電源	AC100V 50Hz/60Hz			
	消費電力	50Hz241W(最大燃焼時145W +凍結予防ヒーター 96W) 60Hz251W(最大燃焼時155W +凍結予防ヒーター 96W)		50Hz209W(最大燃焼時145W +凍結予防ヒーター 64W) 60Hz219W(最大燃焼時155W +凍結予防ヒーター 64W)	
	電源コードの長さ	(ふろコントローラーのスイッチ「切」のとき：約9W) 2.0m			
基準浴そう	容量：200ℓ～300ℓ[1人～2人用]				
安全装置	バーナー安全装置、電流ヒューズ、空だき安全装置、過熱防止装置、凍結予防ヒーター(給湯)、過圧逃し弁(給湯)、漏電安全装置、ファン電流検知装置				
付属品	ふろコントローラー(一式)、アース線、配管用継手(一式)				
別販品	壁掛金具、壁掛金具補強板、防熱板、配管カバーセット、据置台セット、漏れ検査治具 フレア接続継手、フレキ継手、コントローラーケーブル(ふろコントローラー用：8心) ふろ接続アダプター、ユニットバス取付金具、FF用給排気筒トップ (GU-16T1J・GU-16F1J用のみ) オプションコントローラー、コントローラーケーブル (オプションコントローラー用：8心)、2階浴そう用給湯ユニット				

使用ガス 使用ガスグループ	型式名	1時間当たりのガス消費量(kcal/h)				出湯能力(ℓ/分)(水圧:1kg/cm <sup>2</sup> )	
		ふろ 追いだし	給湯能力		同時使用	能力大	
			大	小(参考値)		水温+ 25℃上昇	水温+ 40℃上昇
都市 ガス 用	4 A	10,200	22,700	(8,300)	25,900	(12.1)	7.6
	4 B	10,400	22,900	(8,300)	26,300	(12.2)	7.6
	4 C	10,500	23,900	(8,700)	27,300	(12.7)	8.0
	5 A	11,800	30,100	(8,800)	32,400	(15.2)	9.5
	5 A N	11,800	26,200	(8,100)	30,100	(14.0)	8.7
	5 B	11,500	28,100	(8,700)	31,600	(15.0)	9.4
	5 C	10,900	30,100	(8,600)	33,300	(15.5)	9.7
	6 A	12,400	30,500	(7,000)	41,000	(16.3)	10.2
	6 B	12,200	30,900	(8,000)	37,000	(16.5)	10.3
	6 C	12,000	30,100	(7,900)	37,000	(16.0)	10.0
L P ガス 用	7 C	11,800	30,900	(7,900)	37,500	(16.5)	10.3
	1 2 A	11,400	28,800	(6,500)	39,000	(15.4)	9.6
	1 3 A	12,200	30,900	(7,000)	42,000	(16.5)	10.3
GF-GU-16T1J GF-GU-16F2J		1.0kg/h	2.51kg/h	(0.58kg/h)	3.45kg/h	(16.0)	10.0

●出湯能力の( )内は、水温+25℃上昇に換算した号数です。

使用ガス 使用ガスグループ	型式名	1時間当たりのガス消費量(kcal/h)				出湯能力(ℓ/分)(水圧:1kg/cm <sup>2</sup> )	
		ふろ 追いだし	給湯能力		同時使用	能力大	
			大	小(参考値)		水温+ 25℃上昇	水温+ 40℃上昇
都市 ガス 用	4 A	10,200	22,700	(8,300)	27,000	(12.1)	7.6
	4 B						
	4 C						
	5 A	8,500	25,200	(10,700)	30,900	(13.4)	8.4
	5 A N						
	5 B						
	5 C						
	6 A						
	6 B	12,000	30,100	(7,700)	38,800	(16.0)	10.0
	6 C	11,600	30,100	(7,600)	37,900	(16.0)	10.0
L P ガス 用	7 C						
	1 2 A	10,800	28,000	(7,700)	38,200	(15.0)	9.3
	1 3 A	11,600	30,100	(8,300)	41,000	(16.0)	10.0
		0.92kg/h	2.51kg/h	(0.58kg/h)	3.33kg/h	(16.0)	10.0

●出湯能力の( )内は、水温+25℃上昇に換算した号数です。

●使用ガスグループ中の斜線部は生産していません。

## 長期間使用しない場合

必ず器具前面左下側の運転スイッチを「切」にしガス元せん・給水元せんを閉め、電源プラグを持ってコンセントから抜いて、水抜きを行なってください。(水抜きをしないと、冬期は凍結による器具の破損のおそれがあります。)